

長岡市立表町小学校の取組



長岡戦災資料館アドバイザーの方から長岡空襲について教えていただきました。当時の空襲の様子を知り、衝撃を受けました。

長岡空襲についてさらに詳しく調べようと、山本五十六会館に行きました。



平和を維持するために何ができるのか、青年会議所の方とともに考え始めました。



全校のみんなと一緒に、平和について考えようと、「表町平和ミュージアム展」の準備を始めています。



長岡市立神田小学校の取組



神田小学校 6年生は、平和学習の一環として、長岡空襲について学習しています。

7月14日には、長岡青年会議所の方々による、「平和」についての出前授業をしました。



2026平和祈願祭折り鶴プロジェクトの一つである折り鶴をクラスで約100羽折りました。

タブレットを活用したり、鶴の折り方を知っている仲間に教わったりしながら、千羽鶴を自分たちで丁寧に折りました。

長岡まつりに込められた思いとは…
○1945年8月1日の長岡空襲で亡くなった方々への慰霊
○焼け野原から立ち上がった先人たちへの感謝
○二度と戦争を繰り返さないという恒久平和への祈り



「平和な世の中を続けていくために、自分たちにできることって何だろう？」
「平和って何だろう？日頃から友達とかかわりを大切にするのも平和なのかな？」
「まだ長岡空襲について詳しく知らない下級生に伝えることはできそうだね。」

長岡市立川崎小学校の取組



令和7年11月18日 長岡戦災資料館見学



戦時中の貴重な展示品や資料を見たり、スタッフの方々からの丁寧な説明を聞いたりすることで、当時の人々の苦労や平和の大切さをより深く理解することができました。

6年生が長岡空襲の体験談を語り部の方から聞きました。これまでに長岡戦災資料館の見学で学んだことや総合的な学習の時間に調べたり考えたりしたことと重ねながら、体験談を聞いていました。大切だと感じたことをメモに取りながら、真剣に体験談を聞いていました。

令和7年11月25日 「空襲体験を聞く会」



令和7年10月 空襲体験の絵の掲示



川崎小の卒業生である荒木様からご自身の長岡空襲での体験や記憶を表した絵画6点をお借りし、校内に掲示しました。

長岡市立四郎丸小学校の取組



長岡空襲の体験談を参考に長岡造形大学の学生が描いた絵を紹介したのち、修学旅行先の昭和館からいただいた資料を真剣に読み込み、平和について考えました。



平和祈願祭をきっかけに自分たちにできることを考え、千羽鶴に込められた意味を知ること、「自分たちも折ろう」と決意しました。

千羽鶴の1羽1羽を自分たちで丁寧に折る場面です。初めて鶴を折る児童も、タブレットで折り方を調べながら一生懸命に取り組みました。



長岡市立宮内小学校の取組



長岡市立宮内小学校6年 みらい学年の平和学習



6月2日に長岡青年会議所による平和学習で長岡空襲を知りました。

6月23日の長岡空襲関連施設巡検では
(平潟神社・柿川戦災殉難地の碑
長岡戦災資料館・平和の森公園
山本五十六記念館・山本公園など)
様々な施設を見学し、長岡空襲を感じることができました。



6月30日に長岡空襲体験者の方から体験談講話を聞き、平和への思いを知りました。

令和8年10月30日
宮内小学校学習発表会にて
朗読劇「8月1日 あの日を
忘れない」を発表します。

8月1日をわたしたちが
伝えていきます。



長岡市立上川西小学校の取組



戦災資料館では、資料を基に空襲の
実際を学びました。

大勢の方がなくなった平潟神社
では、ボランティアガイドの方から
話を聞きました。



空襲の目標とされた爆撃中心
点の碑を見付け、リトモザイク
を確認したり、碑文を読んだり
して学びを深めました。



長岡市立希望が丘小学校の取組



- ① 希望が丘小学校では毎年長岡空襲の事実を自分の目で確かめ、肌で感じるために長岡空襲に関係ある場所を巡っています。今年も6月の平和巡検では、左近の模擬原子爆弾投下地、平潟神社、神明神社、平和の森公園、昌福寺の戦災殉難者の墓、山本五十六の生家等を訪れ、講師の先生方より長岡空襲等のお話を聞きました。自分の目で確かめることで、「昔にどこかで戦争があった」ということではなく、「確かに自分の故郷で戦争があった」ことを実感し、戦争の恐ろしさ、悲惨さについて深く考えることができました。
- ② 戦争体験者の方から貴重なお話を聞く学習も積み重ねてきました。1945年の8月1日にあった恐ろしい空襲、一瞬で奪われた日常の幸せ、失われたかけがえのない命。家族を失う悲しみ。お話を聞きながら、子どもたちは、「私たちが戦争の悲惨さ、平和のありがたさ」を伝えていかなければならないという気概を高めています。
- ③ 子どもが考えたこと、感じたことを表現することで、その子の平和への思いや学びが深まると考えて創作劇に取り組んでいます。令和7年11月27日、長岡リリックホールで6年生ひまわり学年が、総合創作劇「一人ひとりの長岡空襲 2025～命の声を紡ぎ 残そう平和の種～」を上演しました。劇では、空襲で亡くなった1489名には幸せな日常があったこと、また、全ての長岡市民に空襲が襲い、かけがえのない家族を失った人の悲しみも想像を絶するものだったこと、空襲の激しさを表現しました。劇で表現することで、多くの方の体験談等から学んだ「一人ひとりの長岡空襲」を自分事として考えることができました。劇の最後には、「これからの平和は自分たちで創る」という思いを、「幸せ」の歌で伝えました。上演後には、「慰霊、復興、平和」の気持ちを込めた「白菊」の花火を嘉瀬煙火工業様より上げていただきました。

長岡市立南中学校の取組



長岡空襲や太平洋戦争などの悲惨さや戦災からの復興の様子を体験的に学び、「平和」のために何が必要かを積極的に考え、自分たちの考えを発信するため、南中学校では、2年生が一年を通して、「知る」⇒「考える」⇒「行動する」のプロセスを大切にした平和学習に取り組んでいます。

平和巡検の様子



平和学習Ⅰ「知る」(5月～10月)

太平洋戦争や長岡空襲を体験した人々の話を聴いたり、長岡戦災資料館や史跡を巡ったりする体験から、戦争の残酷さや悲惨さ、長岡がどのように復興してきたかを学ぶ。

5月には平和巡検に行き、ボランティアガイドの解説を聞きながら長岡の戦災に関わる史跡を巡ります。6月～10月にかけては、外部講師から出前授業をしていただいたり、空襲を体験された方の講話を聞いたりします。このことにより、長岡空襲や戦争をより身近に、現実的に捉えることができます。随時現代の日本や世界の現状と課題について学ぶ特別平和講座も実施しています。

空襲体験者との交流会



平和学習Ⅱ「考える」(8～11月)

戦争の悲惨さや平和の尊さを理解し、問題意識をもちながら恒久平和について考える。

創作劇の様子



得た知識をもとに、一人ひとりが関心をもったテーマを追求していく中で「平和とは何か」について考えを深めていきます。また、学んだことや感じたこと、どのようなメッセージをどのように地域に発信していくのかについても検討していきます。

平和学習Ⅲ「行動する」(12～3月)

学習の成果をまとめて、平和な世界を作っていくために仲間と協力して発信する。

修学旅行の様子

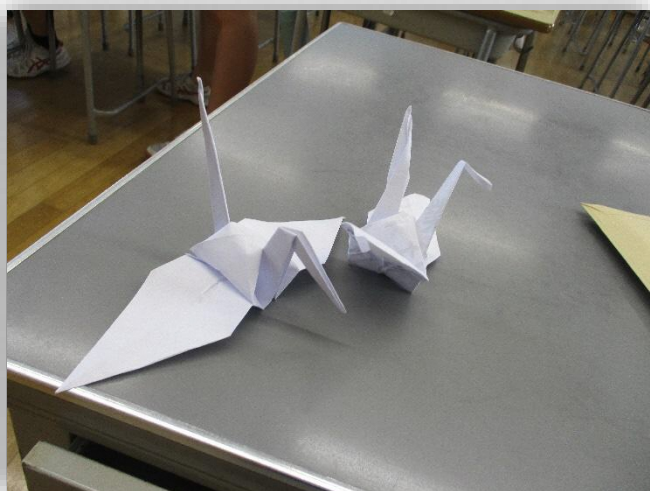


これまでの平和学習で学んだことを創作劇として表現し、「平和な未来のために自分たちに何ができるか」を考えることの大切さを地域に発信します。その後、平和学習の集大成として広島に修学旅行に行き、現地の戦跡や資料を実際に目することで改めて平和の尊さとこれからの行動について考えます。

長岡市立堤岡中学校の取組



長岡空襲の歴史を学び、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代へと語り継ぐため、3年生の生徒が折り鶴作りに取り組みました。「ながおか平和フォーラム」の開催に向けて、生徒一人ひとりが命の重みや平和への切なる願いを深く胸に刻みながら、一羽一羽に祈りを込めて丁寧に折り進めています。折り鶴に託された生徒たちの真剣な想いが、未来の平和を紡ぐ大きな力となることを願っています。また、完成した折り鶴は教室に飾られ、日々の学校生活の中でも常に平和への意識を持ち続けるきっかけとなっています。



長岡市立北辰中学校の取組



令和8年7月3日に、長岡青年会議所・長岡造形大学の方々にお越しいただき、「平和学習出前授業」を行いました。造形大学生が講師となり、長岡空襲の史実を学びました。



2026 平和祈願祭での展示に向けて、折り鶴を折りました。一人ひとりが思いを込めて、一生懸命作業していました。

